1 誌上発表

(1) 原著論文

| 件名 | 登 載 雑 誌 等 | 執 筆 者 名 |
|---|----------------------------------|--|
| 東京都心地域におけるホルムアルデヒドの | 大気環境学会誌、Vol. 49、No. 6、 | 石井康一郎、松本幸雄、伊藤政志、上野 |
| 高濃度ピーク事象の原因 | p. 252-265(2014年5月) | 広行、内田悠太、齊藤伸治、星 純也、 |
| | | 中嶋吉弘、加藤俊吾、梶井克純 |
| 2011年11月に関東で観測されたPM2.5高濃 | 大気環境学会誌、Vol. 49、No.6、 | 長谷川就一、米持真一、山田大介、 鈴木 |
| 度の解析 | p. 242-251(2014年5月) | 義浩、石井克巳、齊藤伸治、鴨志田元喜、 |
| | | 熊谷貴美代、城 裕樹 |
| Emissions of non-methane volatile organic | Journal of Geophysical Research, | Shinji Kudo , Hiroshi Tanimoto , Satoshi |
| compounds from open crop residue burning in | p. 7684-7698 (2014, Jun) | Inomata, Shinji Saito, Xiaole Pan, Yugo |
| Yangtze River Delta region, China | | Kanaya、Fumikazu Taketani、Zifa Wang、 |
| | | Hongyan Chen , Huabin Dong , Meigen |
| | | Zhang、Kazuyo Yamaji |
| 東京都におけるヒートアイランドに関する | 日本ヒートアイランド学会誌 | 常松展充、堀 雅美、横山 仁、市橋 新、 |
| 研究 | Vol. 9、p. 30-35(2014年7月) | 三浦大助 |
| 自治体における気候変動適応策の施策化過 | 環境科学会誌 Vol.28、No.1、 | 市橋 新、馬場健司 |
| 程に関する課題と解決策 | p. 27-36(2015 年 1 月) | |
| ーインタラクティブ・アプローチの検証と | | |
| ワークショップの実践- | | |
| Flame retardant emission from e-waste | Science of the Total Environment | Hidenori Matsukami, Nguyen Minh Tue, Go |
| recycling operation in northern | Vol.514、p. 492-499 (2015, Feb) | Suzuki, Masayuki Someya, Le Huu Tuyen, |
| Vietnam: Environmental occurrence of | | Pham Hung Viet, Shin Takahashi, Shinsuke |
| emerging organophosphorus | | Tanabe、Hidetaka Takigami |
| esters used as alternatives for PBDEs | | |
| 都内地下水における有機フッ素化合物の実 | 環境化学 Vol. 25, No. 3 p. 149-160 | 西野貴裕、加藤みか、下間志正、北野 大 |
| 態とその挙動に関する考察 | (2015, Mar) (日本環境化学会) | |

(2) その他

| 件 名 | 登 載 雑 誌 等 | 執 筆 者 名 |
|-------------------------|-----------------------------|--------------------|
| 東京都における PM2.5 の実態~成分組成と | 化学物質と環境、Vol. 126、p. 11-13 | 上野広行 |
| 発生源寄与率~ | (2014年7月) | |
| 生物起源VOCによる PM2.5 生成への寄与 | 化学物質と環境、Vol. 126、p. 14-15 | 松永 壮 |
| の可能性 | (2014年7月) | |
| 「適応」社会への挑戦⑩気候変動リスクに | 環境新聞、1 面連載 | 市橋 新 |
| 備えろ! | (2014年11月) | |
| モデルガスを用いたオルファクトメーター | 空気清浄、Vol. 52、No. 5、p. 44-47 | 上野広行、光田 恵、石井典輝、瑶樹伸 |
| 法と三点比較式臭袋法による空気清浄機の | (2015年1月) | 彦 |
| 脱臭性能評価 | | |
| 東京湾におけるグリーンタイドを引き起こ | 水環境学会誌 Vol.38、No.2、 | 矢部 徹、石井裕一 |
| す侵入アオサの実態 | p. 67-71(2015年2月) | |
| 小型家電リサイクル法における優先回収品 | 清掃技報、No. 15、p. 99-106 (2015 | 飯野成憲 |
| 目の検討について | 年 3 月) | |
| ビル管理者が知っておきたい PM2.5 の基礎 | 2015 年版ビル設備管理ガイドブッ | 上野広行 |
| 知識 | ク (オーム社) | |

2 学会等発表

| 件名 | 登 載 雑 誌 等 | 執 筆 者 名 |
|--|--|---------------------------------------|
| Challenges on reduction of air pollution | Workshop of PM _{2.5} Strategy for | Hiroyuki Ueno |
| in Tokyo. Past, present and future | Megacity, Shanghai, P. R. | |
| | China (2014, May) | |
| 東京湾表層底質中におけるダイオキシン類 | 環境化学討論会、p. 393-394 | 野澤亜紀 |
| の濃度及び組成 | (2014年5月) | |
| 都内水環境中におけるベンゾトリアゾール | 環境化学討論会、p. 555-556 | 西野貴裕 |
| 系紫外線吸収剤の分析法検討 | (2014年5月) | |
| ヘリ搭載サーモカメラにより観測された東京都 | 日本地球惑星科学連合、AAS23-07 | 常松展充、横山 仁、本條 毅、 市橋 |
| 心エリアの地表面温度分布とヒートアイランド | (2014年5月) | 新、安藤晴夫、松本 太、瀬戸芳一 |
| 対策効果の検証―2013 年と2007年の比較 | (2011 0 /1) | ATT STATE OF THE MENT OF |
| 東京都区部で発生した短時間強雨時の降水 | 日本気象学会 2014 年度春季大会、 | 瀬戸芳一、横山 仁、安藤晴夫、常松展 |
| 量分布と地上風系・可降水量との関係 | p. 134 (2014年5月) | 充、中谷 剛、小司禎教、楠 研一、中 |
| 重力和と地工風示・可降小重との関係 | p. 134 (2014 午 5 月) | 山雅哉、高橋日出男 |
| 実汚染土壌を用いた土壌中重金属類の長期 | 第 20 回地下水・土壌汚染とその | 星 純也、高橋真子、酒井良枝、中村謙 |
| | | |
| 溶出特性の検討 | 防止対策に関する研究集会、 | 吾、保高徹生 |
| てぬル加油「核ネ戸和売売リキ屋生」 | p. 51-54(2014年6月) | 古孫古フ 日 がは MEJLもは Lmg # |
| 不溶化処理土壌の長期安定性評価法につい | 第20回地下水・土壌汚染とその | 高橋真子、星 純也、酒井良枝、上野孝 |
| ての考察 | 防止対策に関する研究集会、 | 司 |
| | p. 490-492(2014年6月) | |
| 熱赤外リモートセンシングによる東京都心 | 日本ヒートアイランド学会第9 | 常松展充、横山 仁、本條 毅、市橋 新、 |
| のヒートアイラント対策効果の調査研究 | 回全国大会 | 安藤晴夫、松本 太、瀬戸芳一 |
| | p. 110-111(2014年7月) | |
| Dynamical downscaling and socio-economic | Asia Oceania Geosciences Society | 常松展充 |
| land use scenarios for regional scale adaptation | Annual Meeting 2014 | |
| to climate change in Tokyometropolitan area | A41H-0061 (2014, Jul) | |
| 気候変動適応策とは何か | 九都県市首脳会議, 環境問題対策 | 市橋 新 |
| | 委員会地球温暖化対策特別部会 | |
| | (2014年7月) | |
| Long-term Measurements of Elemental and | Asia Oceania Geoscience Society | 島田幸治郎 |
| Organic Carbon at Cape Hedo Okinawa,Japan | (2014, Jul) | |
| 気候変動適応策 我々は何をなすべきか・ | 市民のための環境公開講座(2014 | 市橋 新 |
| 都市と個人の立場から考える | 年7月) | |
| 沖縄辺戸岬で観測された水溶性有機エアロ | 国際エアロゾル学会 | 島田幸治郎 |
| ゾルの特徴 | (2014年8月) | |
| オルファクトメーター法と三点比較式臭袋 | 第27回におい・かおり環境学会、 | 上野広行、光田 恵、野口美由貴、石井 |
| 法による空気清浄機の脱臭性能評価 | p. 58-59 (2014年8月) | 典輝、瑶樹伸彦、諸井澄人 |
| 小型家電リサイクル法に基づくボックス回 | 第25回廃棄物資源循環学会研究 | 飯野成憲、辰市祐久、茂木 敏、吉田慎 |
| 収等の実態 | 発表会、p. 131-132 (2014 年 9 月) | 太朗、寺園 淳、小口正弘、荒井康裕 |
| 辺戸岬で観測された炭素質エアロゾルの長 | 地球大気化学国際共同研究計画 | 島田幸治郎 |
| 辺戸岬で観測された灰系真エアログルの長 期トレンド | (2014年9月) | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| | | 1. 取 广 ⁄~ |
| 東京都における PM _{2.5} に含まれる有機成分 | 第55回大気環境学会年会、 | 上野広行 |
| の分析と発生源解析 | p. 146-147(2014年9月) | |
| 東京都における PM _{2.5} 化学成分の通年観測 | 第 55 回大気環境学会年会、p. 270 | 齊藤伸治、島田幸治郎、増田龍彦、上野 |
| (第2報) -季節変化と日変化- | (2014年9月) | 広行 |
| 東京都における PM _{2.5} 化学成分の通年観測 | 第 55 回大気環境学会年会、p. 271 | 島田幸治郎、増田龍彦、齊藤伸治、上野 |
| (第2報) 一高濃度一 | (2014年9月) | 広行 |
| <u> </u> | | |

| ウランバートルの大気粉じん中の化学成分 | 第 55 回大気環境学会年会、p. 283 | 星 純也、森 育子、山崎正夫、 |
|---|---|---|
| 濃度 | (2014年9月) | Batdorj Dashdondog |
| 使用過程のポスト新長期適合大型自動車の 排出実態 | 第 55 回大気環境学会年会、p. 314 (2014 年 9 月) | 山崎 実、陸田雅彦、門屋真希子、岡田 めぐみ、小谷野眞司、横田久司 |
| 小型使用過程車の排出ガス調査結果につい て | 第 55 回大気環境学会年会、p. 315 (2014 年 9 月) | 陸田雅彦、山崎 実、門屋真希子、岡田 めぐみ、小谷野真司、横田久司 |
| 都内における大気中ナノ粒子の連続測定 | 第 55 回大気環境学会年会、p. 395 (2014 年 9 月) | 增田龍彦、上野広行、齊藤伸治、秋山 薫 |
| チャンバー実験による生物起源 VOCのオ キシダント生成能評価 | 第 55 回大気環境学会年会、p. 452 (2014 年 9 月) | 松永 壮、齊藤伸治、上野広行 |
| 関東地方におけるNMHC, NOx濃度と Ox生成量との関係 | 第 55 回大気環境学会年会、p. 459 (2014 年 9 月) | 上野広行、齊藤伸治、國領和夫 |
| 東京都における PM _{2.5} あるいは PM _{2.1} の主 要な成分濃度の推移 | 第 55 回大気環境学会年会、p. 469 (2014 年 9 月) | 秋山 薫、吉岡秀俊、上野広行 |
| 東京都における大気中VOC成分の濃度変動とその特性 | 第 55 回大気環境学会年会、p. 521 (2014 年 9 月) | 石倉淳士、上野広行、松永 壮、秋山 薫、 齊藤伸治、増田龍彦 |
| Current status of urban air pollution in Tokyo -PM2.5 and Ozone(Ox)- | 2014 Seoul International Forum on Air Quality Improvement Dayl p. 29-36 (2014, Sep) | 上野広行 |
| 一般廃棄物処分場における浸出水のアナモックス反応による脱窒素処理について (3) | 第 25 回廃棄物資源循環学会、 p. 427-428 (2014 年 9 月) | 辰市祐久、飯野成憲、茂木 敏、加藤正 広 |
| ダイオキシン類組成から見た荒川及び多摩川 河口域における東京湾底質の堆積状況 | 第 17 回日本水環境学会シンポジ ウム、p. 67-68 (2014年9月) | 山﨑正夫、野澤亜紀 |
| 都内河川における臭素系難燃剤へキサブロモシクロドデカン(HBCD)の実態調査 | 第 17 回日本水環境学会シンポジウム、p. 97-98 (2014年9月) | 西野貴裕、加藤みか、下間志正 |
| Introducting a method for adaptation measures to plan with local government | Connecting Delta Cities side event (C40), (2014, Sep) | 市橋 新 |
| 気候変動適応策 自治体は何からはじめれ ば良いか? | 川崎市適応策検討準備会 (2014 年 9 月) | 市橋新 |
| 都内水域における合流式下水道雨天時越流 水の実態調査 | 全環研関東甲信静水質部会、 (2014年10月) | 石井裕一 |
| 25年度実施分のHBCDの測定データについて | 国立環境研究所II型研究「国内に おける化審法関連物質の排出及 び動態の解明」研究推進会議 (2014年10月) | 西野貴裕 |
| 熱赤外リモートセンシングによる東京都心 の暑熱対策効果の調査研究 | 全国環境研協議会関東甲信静支 部大気専門部会、(2014年10月) | 常松展充 |
| Relationship between rainfall distribution, surface wind and precipitable water vapor during heavy rainfall occurred in central Tokyo in summer | Second International Workshop on Tokyo Metropolitan Area Convection Study for Extreme Weather Resilient Cities 、p. 16 (2014, Nov) フューチャー・アース・ワークシ | 瀬戸芳一、横山 仁、安藤晴夫、常松展 充、中谷 剛、小司禎教、楠 研一、中 山雅哉、高橋日出男 市橋 新 |
| 東京都における PM _{2.5} 高濃度日の特徴 (I) - 出現頻度とその要因解析 - | ョップ (2014年11月) 第 41 回環境保全・公害防止研究 発表会、p. 36-37 (2014年12月) | 星 純也、齊藤伸治、上野広行 |

| - 化学成分組成 - 発表会、p. 38-39 (2014 年 12 月) 国立環境研究所Ⅱ型共同研究「国内におけ 第 41 回環境保全・公害防止研究 西野貴裕 る化審法関連物質の排出源及び動態の解 発表会、p. 92-94 (2014 年 12 月) | |
|--|----|
| る化審法関連物質の排出源及び動態の解 発表会、p. 92-94 (2014 年 12 月) | |
| | |
| | |
| 明」の進捗状況について | |
| 東京都内における光化学オキシダント高濃 第 41 回環境保全・公害防止研究 石倉淳士、星 純也、上野広行、松永 3 | 壮、 |
| 度時の大気中VOC成分の挙動 発表会、p. 66-67(2014年12月) 秋山 薫、齊藤伸治、増田龍彦、島田 | 幸治 |
| 郎 | |
| 大腸菌測定における疎水性格子付メンブラ 第 41 回環境保全・公害防止研究 石井裕一、和波一夫、木瀬晴美、渡邊 | 建 |
| ンフィルターの不具合の発見~クロスチェ | |
| ックの有効性と他機関との連携~ | |
| 小型家電リサイクル法における回収対象品 第36回全国都市清掃研究・事例 飯野成憲 | |
| 目の選定 発表会、p. 44-46(2015 年 1 月) | |
| 自治体における気候変動適応策導入時の課 日本学術会議国際協力分科会、 市橋 新 | |
| 題と提案 (2015年1月) | |
| 気候変動適応策の課題と提案 低炭素杯特別シンポジウム 市橋 新 | |
| (2015年2月) | |
| 東京湾の大腸菌数と腸球菌数 第 49 回日本水環境学会年会、 和波一夫、石井裕一、安藤晴夫、木瀬 | 睛 |
| p. 315 (2015 年 3 月) 美 | |
| 東京都内水域における亜鉛濃度の状況(水 第 49 回日本水環境学会年会、 安藤晴夫、石井裕一、和波一夫 | |
| 質) p. 518 (2015 年 3 月) | |
| 東京都内水域における亜鉛濃度の状況 (底 第 49 回日本水環境学会年会、 石井裕一、和波一夫、安藤晴夫 | |
| 質) p. 519 (2015 年 3 月) | |
| 東京湾北西域におけるダイオキシン類等の 全国環境研協議会研究集会 (第 山崎正夫 | |
| 堆積状況 49 回日本水環境学会年会、(2015 | |
| 年3月) | |
| 東京湾及びその流域河川におけるヘキサブロ 第 49 回日本水環境学会年会、 加藤みか、西野貴裕、木村匠汰、下間 | 志 |
| モシクロドデカン (HBCD) の実態調査 p. 532 (2015 年 3 月) 正 | |